

□ 要請番号 (JL76319B19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ウズベキスタン	G231 デザイン		個別	交替 2代目	2年	・ 2020/1 ・ 2020/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

高等中等専門教育省

2) 配属機関名 (日本語)

国立美術デザイン大学

3) 任地 (タシケント州タシケント市) JICA事務所の所在地 (タシケント市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同大学はタシケント芸術大学美術学部が1997年に分離し、美術・デザイン教育を専門とする唯一の大学として設立された。造形芸術学部、応用芸術学部、芸術理論学部、デザイン学部の4つの学部からなり、200名の講師陣の元、1,200名の学生が同校で学んでいる。卒業生の多くは教育機関での美術指導、画家、陶芸家、服飾デザイナー、商業デザイナーとして活躍中。ドイツ、スイス、中国、ラトビア等、提携する海外の姉妹校も多く、日本の愛知芸術大学とも2015年に協定を交わしている。現在、1代目の青年海外協力隊(JV)および美術のシニア海外ボランティア(SV)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2015年10月の安倍首相の当地訪問に続き、11月に開催された日本・ウズベキスタン学長会議の際、同大学も愛知県立芸術大学と学術交流協定を締結した。日本の芸術や文化、伝統工芸等への関心が高まりをみせる中、同分野の紹介や指導を行える人材が不足していることから、JICAボランティアによる協力が求められている。現在活動中のJVは自身の経験を基に日本のデザインの実例を紹介したり、グラフィックデザインの4大原則についてのプレゼンテーションを定期的に行っている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

以下の活動を現地教員と協力して行う。

1. グラフィックデザインの4大原則(コントラスト、繰り返し、整列、近接)についてプレゼンテーションを行う
2. 自身の経験を基にデザインの実例を紹介する
2. デザイン学部で学ぶ学生に対し、制作指導やアドバイスを行う
3. 学内外で行われるイベントの実施支援を行う
4. その他、大学からの要請に応じ、ワークショップやセミナーを開催する

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

コンピューター、プリンター、スキャナー

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚: デザイン学部講師2名(30代、学士以上、指導経験3年以上)

対象者: デザイン学部の学生、大学院生

5) 活動使用言語

ウズベク語

6) 生活使用言語

ウズベク語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）美術 備考：同僚と同等レベルが求められる

[経験]：（指導経験）5年以上 備考：指導を行う上で必須

[参考情報]：

- ・学歴 (大卒) デザイン分野も可

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（-20～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】